

## 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第17回本部会議 記録

日 時／令和2年7月9日（木）  
17：30～17：48  
場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

### 【副本部長（中野副知事）】

それではただいまから、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部第17回本部会議を開催いたします。

まず、状況報告を保健福祉部長からお願いいたします。

### 【三瓶保健福祉部長】

新型コロナウイルス感染症に関しまして、発生状況などについてご報告申し上げます。資料1をご覧ください。まず初めに、1（1）「道内の発生状況及び検査の状況」についてですが、9ページ以降が前回の本部会議以降の新たな事例でございます。

道内におきましては、6月19日以降、本日7月9日17時時点までに、新たに94例の新型コロナウイルス感染症が確認され、これまでの累計で1283例が発生している状況となっております。また、「検査及び患者の状況」につきましては、12ページの欄外になりますが、札幌市との検査分を含めまして、本日時点で2万2763名の検査を実施してございます。陽性累計は1283名、このうち陰性確認済みの方は1126名、お亡くなりになられた方が101名で、現在の患者数は56名となっております。

同じく宿泊療養施設入所者数についてですが、本日15時現在で、アパホテル&リゾート札幌に3名の療養者が入所されております。なお、バックアップ棟の位置付けでありまして、リッチモンドホテル札幌駅前には、現在入所者はおりません。

続きまして資料1の1ページに戻っていただきまして、1（2）「国内の発生状況」をご覧ください。下線を引いている部分が更新した箇所でございます。7月8日0時までに確認されております感染者は2万174例で、入院治療等を要する方が1862名、お亡くなりになられた方が980名となっております。

続いて、同じく1ページの2「国などの対応」につきましては、4ページ目の（62）から（66）ですが、主なものをご説明申し上げますと、6月19日、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に基づきまして、社会経済活動のレベルを一段階引き上げ、都道府県をまたぐ移動の自粛等が緩和され、また同日、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の利用が開始されました。7月3日、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、これを廃止しまして、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づきます「新型コロナウイルス感染症対策分科会」の設置を決定いたしまして、7月6日に同分科会が開催されております。

次に4ページの3「道の対応」につきましては、7ページ目の（63）から8ページ目の（67）でございますが、主なものについてご説明申し上げますと、6月19日、新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針に基づきまして、ステップ2に移行し、6月

30日、3棟の宿泊療養施設のうち、東横イン札幌すすきの南、これの契約期間が終了してございます。

次に資料2をご覧ください。1ページ目には6月1日以降の感染者の動向をお示ししてございます。6月1日からステップ1、6月19日からステップ2に移行したところではありますが、新規感染者数やリンクなしの感染者数の著しい増加など、感染拡大の兆しが見られないことから、予定通り明日7月10日から次のステップ3に移行することといたします。具体的には、イベント等の開催制限について、明日7月10日以降、屋内、屋外イベントともに5千人以下に緩和いたします。これまでと比べ、かなり大規模なイベントが開催可能となりますので、イベントの開催に当たりましては、これまで以上に適切な感染防止対策にご留意いただきまして、その準備が整ったイベントから開催いただきたいと考えてございます。

なお、ステップ3への移行に当たりまして、別添参考資料でございますが、昨日付けで内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室から留意事項が通知されております。例えば、イベント主催者等に対しまして、2ページ目ですが、入場時等の検温の実施、発熱等の症状がある者は参加を控えてもらうことや、イベント参加者に接触確認アプリのインストールを促すこと、熱中症等の対策が必要な場合を除きまして、原則マスクの着用を促すこと、また入退場時、休憩時間や待合場所などを含め、いわゆる「3密」の環境をつくらぬよう徹底することといった注意喚起を行うことが求められております。詳細につきましては、後ほど内容をご確認いただければと思います。

私からは以上でございます。

#### **【副本部長（中野副知事）】**

続きまして、各部などから報告をお願いいたします。まず総務部長からお願いいたします。

#### **【平野総務部長】**

総務部から資料3に基づき報告をいたします。初めに2枚目以降、参考で通知文を添付しておりますが、これは緊急事態解除後の道の基本方針に基づきまして、道職員自らが率先して「新北海道スタイル」を実践し、感染リスク低減に向けた取り組みについては、道主催の会議やイベントの実施、出張や健康管理面の注意事項、そして在宅勤務や分散勤務を継続的に行うことなどを通知しておりますので、あらためて徹底するようお願いいたします。

これは道内での取り組みが中心でございますが、1枚目に戻っていただきまして、最近東京都において新規感染者数が増加していることを踏まえ、7月7日付けで他都府県への出張における留意事項について通知を発出いたしました。内容につきましては、他府県への出張に当たっては、出張先の感染状況を十分把握した上で、出張人数や日程、行程について、必要最小限の行動となるよう適切に対応すること、出張先では、出張先の自治体が行っている感染防止対策を十分踏まえた行動を取り、飲食店を利用する場合には、感染防止対策を徹底していることを確認するなど、感染リスクを低減する行動を取ることでございますので、各部は所属職員に周知徹底するようお願いいたします。

以上でございます。

**【副本部長（中野副知事）】**

続きまして、石狩振興局長からお願いいたします。

**【佐藤石狩振興局長】**

石狩振興局でございます。石狩振興局の取り組みにつきまして、ご説明させていただきます。資料は特に用意してございません。石狩振興局では、6月19日に管内各市町村長と連携の上、7月5日までを期間とする「新型コロナウイルス注意報」を発出したところでございますが、期間中の7月2日に再び2例の感染者が確認されたことから、注意報の期間を7月20日までと延長してございます。

管内の感染状況は、感染者がゼロの日も増えてございまして、最近は落ち着いているように感じているところでございますが、観光や経済活動などによる人の往来も活発になってきておりますことから、感染が再び拡大することのないよう、管内各市町村と一緒に「北海道スタイル」の実践を住民の皆さんに呼び掛けてまいりたいと思います。

以上でございます。

**【副本部長（中野副知事）】**

続きまして、胆振総合振興局長からお願いいたします。

**【花岡胆振総合振興局長】**

胆振から報告いたします。まず管内では、先月新規感染者が2名確認された日がありましたので、6月16日から住民に注意を促す「呼びかけ」を行ってまいりまして、7月6日に解除いたしました。この解除に先立ちまして、管内の全首長とウェブによる会議を行い、検査や医療提供体制の強化、また道や市町村が実施する経済対策について情報の共有を行い、引き続き連携を強化して取り組むことといたしました。

加えまして、お配りしている資料4をご覧くださいと思います。次の日曜日7月12日、いよいよウポポイがオープンいたします。振興局ではこのオープンに合わせて、左側の囲みですけれども、「いぶり・ウポポイ ウェルカムキャンペーンWith北海道スタイル」、これの展開を始めます。ウポポイの入場券を管内の参加店舗に提示することで、割引やプレゼントが受けられるというもので、お客さまの管内周遊や消費に結び付けていくものであります。協力いただく約130の店舗には、「北海道スタイル」の実践をお願いしておりまして、職員が店舗に直接出向きまして、この資料の右下にある、振興局オリジナルステッカーを先頭に掲示してもらっております。感染対策の取り組みを可視化しながら、お客さまに安心してお越しいただける環境づくり、そして消費循環に管内全体で取り組んでいきます。

胆振からは以上です。

**【副本部長（中野副知事）】**

その他、各部などご発言などありませんでしょうか。よろしいですか。そうしましたら、今後の対応などにつきまして本部長からお願いいたします。

## 【本部長（知事）】

先ほど保健福祉部長から説明がありましたが、明日7月10日からステップ3に移行し、イベントの開催制限については、入場者数を5千人以下に緩和し、これまで無観客で開催されておりましたプロスポーツなどの観戦も可能となるものであります。一方で大規模なイベントの来場者には他都府県から参加をされる、そういったことも予想されますので、引き続き常に見えない感染、そういったものを念頭に置いて対応していかなければならないと考えております。

こうした状況を踏まえまして、札幌ドーム、日本ハムファイターズ、コンサドーレ札幌と連携し、札幌ドームで開催されますプロ野球とJリーグの観客試合において、北海道コロナ通知システムと国の接触確認アプリ「COCOA」を活用した感染拡大防止対策に取り組んでいただくこととなりました。イベントの開催を予定しております事業者の皆さまにおかれては、こうした取り組みも参考にさせていただいて、感染拡大防止対策にしっかり取り組んでいただいて、ガイドラインの遵守など「新北海道スタイル」の実践を徹底していただきたいと考えております。先ほど説明がありました国から発出された留意事項も含め、市町村と連携をしながら、各部、各振興局から関係する事業者の皆さまへ周知徹底をお願いいたします。

また、道内で東京滞在歴のある感染者の方が確認されましたほか、本日、東京都で過去最大の224名の新規感染者が確認され、感染が拡大しつつあると専門家が分析しており、一人ひとり感染リスクの低減に向けた行動を取ることが求められております。総務部長から説明がありましたが、今後職員の皆さんも出張の機会が増えてくるものと思われまます。引き続き、訪問先の感染状況や呼び掛けに留意しながら、飲食店の利用にあっては感染防止対策が十分に取られている店舗を利用するなど、「新北海道スタイル」の実践の徹底をお願いしたいと思います。

石狩および胆振の振興局から「呼びかけ」について説明がありましたが、こうした取り組みは市町村との日頃の連携が必要不可欠でございます。道といたしましても、緊急対策として「どうみん割」、そしてプレミアム商品券など、直接地域振興につながる取り組みを展開しているところであり、今後とも振興局長はじめ振興局が一丸となって地域の声に積極的に耳を傾けながら、さまざまな機会を捉えて、感染防止対策と社会経済活動の両立に向けた取り組みが浸透するよう、周知徹底をお願いいたします。

今後、第3波以降の波に備えるため、今月中に有識者会議を設置し、北海道独自の緊急事態宣言やメッセージ、これまで実施してきた緊急対策などについて、中間的な検証に着手することといたしました。これまでの対応について不断の見直しを行い、より効果的な取り組みにつなげていくため、検証の作業には各部局が連携して取り組んでいただきたいと思います。

最後になりますけれども、新型コロナウイルス感染症との闘いは今後も続いていきます。より一層、迅速かつ柔軟に各般の対応を進めていく必要があることから、明日10日付けで、これまでの新型コロナウイルス感染症対策チームを対策本部指揮室に再編し、本部機能の充実強化を図ることといたしました。職員の皆さんにおかれては、長期間にわたって感染症対策に懸命に取り組んでいただいているところでありますが、引き続きこの危機克

服に向けて、全庁一丸となって取り組みを進めていただきたいと思います。  
私からは以上です。

**【副本部長（中野副知事）】**

それでは以上をもちまして、新型コロナウイルス感染症対策本部第17回本部会議を終了いたします。